

1 単元名 PROGRAM 7 Research on Australia （Sunshine English Course 1）

2 単元について

本単元は、日本と時差の少ない国の一つであるオーストラリアの特徴について紹介されている教材である。日本とは季節が正反対だったり、住んでいる動物が全く違ったりすることに加え、世界遺産や文化の違いについても含めてオーストラリアへの興味を高めたい。言語材料としては、There is [are]...の肯定文・否定文・疑問文、How+疑問文を用いた文が取り上げられている。これらを用いて、生徒はオーストラリアの特徴について理解し、自分のことを話すことができるように音読活動を通じて、英語力の向上を図りたい。また、本単元で十分なインプットを積み重ねて技能を獲得することで、これからの英語学習に意欲的に取り組める動機づけになることを期待する。

3 生徒の実態について〈省略〉

4 研究との関連

研究主題：「英語で自分の考えや気持ちを意欲的に表現できる生徒児童の育成」
～音声から文字への指導を充実させて～

仮説1

英語指導において、音声から文字への指導を充実させれば、児童生徒が自分の考えや気持ちをまとまりのある英文で書くことができ、英語を書くことへの苦手意識が軽減するだろう。

手立て

- ① 小中帯活動での音声から文字への学習活動（Waku-Waku Writing）
- ② デジタル教科書（ICT）の効果的な活用

仮説2

小中連携を図り、小学校での指導内容を踏まえた共通の指導を行えば、生徒が安心して学ぶことができ、学習への意欲も高まるだろう。

手立て

- ① 小中共通の指導方法やクラスルームイングリッシュの確立
- ② 小中連携による児童生徒の交流

仮説3

やり取りの時間を十分に確保して、中間指導を多く設けたり、やり取りの機会を多くの児童生徒としたりするなど、やり取りの機会を充実させれば、児童生徒は英語でのコミュニケーションに必要感をもち、自分の考えや気持ちを意欲的に表現できるだろう。

手立て

- ① ALTの積極的な参画

- ② 段階を踏んだやり取りの設定と中間指導の充実
- ③ 表現方法等の具体例の提示

5 単元の目標と評価規準

オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えることができる。

- ・ There is [are]...や how の疑問文の意味や働きを理解し、登場人物や自分の住んでいる地域のことなど、身近な情報について書かれた内容を聞き取り、概要を理解している。〈知識及び技能〉
- ・ オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えている。〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・ オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えようとしている。〈学びに向かう力、人間性等〉

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと 読	〈知識〉 ① There is [are]...や how の疑問文の意味や働きを理解している。 〈技能〉 ② There is [are]...や how の疑問文の表現を用いて、音読する技能を身につけている。	オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えている。	オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えようとしている。

7 単元の指導と評価の計画（8時間扱い）

	◆ねらい ○活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	評価規準〈評価方法〉
1	◆Scenes1（There is [are]...の意味や働きを理解する）				
	○ There is [are]...の用法を理解し、自分の住んでいる地域にあるものについて表現する。				※本時では、記録に残す評価は行わないが、指導に生かす見取りは行う。
2	◆Scenes2（how の疑問文の意味や働きを理解する）				
	○ how の疑問文の用法を理解し、交通手段について表現する。				※本時では、記録に残す評価は行わないが、指導に生かす見取りは行う。
3	◆Part1（オーストラリアの動物や自然について他の人に伝えるために、対話を読んで、概要				

	や要点を捉えることができる)			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ オーストラリアの有名なもの（動物や自然）について理解する。 ○ 本文の確認や音読練習をする。 		読	<ul style="list-style-type: none"> ◎オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えている。 ◎オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えてようとしている。 <p style="text-align: center;">〈ノート・ワーク〉</p>
4	◆Part2（オーストラリアの動物や自然について他の人に伝えるために、対話を読んで、概要や要点を捉えることができる）			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ オーストラリアの有名なもの（動物や自然）について理解する。 ○ 本文の確認や音読練習をする。 		読	<ul style="list-style-type: none"> ◎オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えている。 ◎オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えてようとしている。 <p style="text-align: center;">〈ノート・ワーク〉</p>
5	◆Part1 の発音確認（デジタル教科書の音声を読みたり繰り返したりすることで、正しい発音で音読しようとしている）			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の本文を復習 ○ 音読練習 ○ イヤホンを使って正しい音声を繰り返し聞く。 ○ 自分の発音を録音して、教科書本文と異なる部分を見つける 			※本時では、記録に残す評価は行わないが、指導に生かす見取りは行う。
6 本時	◆Part2 の発音確認（デジタル教科書の音声を読みたり繰り返したりすることで、正しい発音で音読しようとしている）			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の本文を復習 ○ 音読練習 			※本時では、記録に残す評価は行わないが、指導に生

	○ イヤホンを使って正しい音声を繰り返し聞く。 ○ 自分の発音を録音して、教科書本文と異なる部分を見つける。				かす見取りは行う。
7	◆パフォーマンステスト (Part1 もしくは Part2 の本文の音読を録音して提出する)				
	○ Part1 もしくは Part2 の本文の音読場面を録画し、自分の中で最も発音が良くできたものを提出する。(一度限りではなく、繰り返し録画をしても良いとする)	読 ① ②			◎There is [are]...や how の疑問文の意味や働きを理解している。 ◎There is [are]...や how の疑問文の表現を用いて、音読する技能を身につけている。 ・評価方法に関しては改めてポートフォリオを作成して、事前に生徒へ提示。 〈録画した音声〉
8	◆Active (オーストラリアの動物や自然について他の人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真を見て、相手に示しながら概要を読むことができる)				
	○ 写真を使って、本文の内容を振り返る。 ○ 自分が考えた動物園の配置を提案する。		読	読	◎オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えている。 ◎オーストラリアの動物や自然について、自分の考えを含めて概要を伝えるために、オーストラリアの動物や自然について触れている英文を読んで、必要な情報を捉えようとしている。 〈発表の場面〉

8 本時の展開 (6 / 8 時間目)

- (1) 目標：英語の文章の概要を踏まえて適切な発音で音読するために、繰り返し自分に適する方法で英語を聞いたり読んだりしようとすることができる。
- (2) 準備：教科書、大型モニタ、タブレット端末 (学習者用デジタル教科書)
- (3) 展開

過程	○学習活動・学習内容	・指導上の留意点 ◎評価〈観点〉(方法)
----	------------	-------------------------

<p>導入 (5)</p>	<p>○Greetings ○Warm up (1) Waku-Waku Writing (2) Small talk</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語で日時や天気に関してやり取りしながら、授業の雰囲気を作り上げる。 Small talk は、今まで身につけてきた表現を自らの言葉で相手に伝えられるようになることを目的としている。
<p>展開 (40)</p>	<p>○Today's goal の提示 【デジタル教科書の音声を聞いたり繰り返したりすることで、正しい発音で音読できる。】</p> <p>○Reading&Listening (25分) ①一斉音読 ②カラオケ機能を使った音読</p> <p>③Listening ⇒生徒は各自のタブレットを使用する。学習者用デジタル教科書を開き、イヤホンを使って教科書本文を聞く。デジタル教科書に語の連結や強勢など、気づいた点をマーカーや付箋機能で記入するように伝える。</p> <p>④中間指導 (Listening) ⇒語の連結や強勢など、実態に合わせて生徒に伝える。</p> <p>⑤シャドーイング</p> <p>○Pair reading (10分) ⇒中間指導を踏まえて実施するように生徒へ伝える。</p> <p>○Recording (5分) ・タブレット端末のレコーディング機能を使って個人で本文の音声入力を行う。その後、ファイル比較ツールで教科書本文と録音した音声を比較し、何が発音できていないか繰り返し確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一斉の音読練習では、語の連結による音変化や強勢やイントネーションを身につけさせられる練習をする。 生徒たちの実態に応じてスピードを調整する。 シャドーイングにより、聞こえてくる音声の速さに応じて正しく再生させる。 自分で読む際、分からない発音は学習者用デジタル教科書とイヤホンを活用するように伝える。(聞いても発音ができない生徒には、AI ツールの使用を許可してカタカナの表記を促す。) ペアになって、Challenger と Helper の役割に分かれて本文を読む。Challenger は教科書を閉本し、Helper が必要な場合は「Help!」と言って助けを求める。 ◎学習者用デジタル教科書を効果的に使って、繰り返し自分に適する方法で粘り強く取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) (活動の観察)

<p>終末 (5)</p>	<p>○振り返りシートの記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をして目標に対する到達度を確認する。 <p>○Greetings</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返るとともに、パフォーマンステストに向けた意気込みや気をつけた点を記す。
-------------------	--	---

9 板書計画

<p>曜日、日づけ、天気</p>	
<p>～Schedule～</p> <p>Small talk</p> <p>Reading</p> <p>Speaking</p> <p>Reflection</p>	<p>Today's goal :</p> <p>デジタル教科書の音声を聞いたり繰り返したりすることで、正しい発音で音読できる。</p>